

ラマンイメージング装置による伊勢市版歌川派錦絵および版木の色材分析

Study of the Colors of Some Utagawa School Ukiyo-e and Its Woodblocks
Mainly Published by Ise-ichi Using Raman Imaging Equipment

小瀬戸恵美・落合周吉・増谷浩二・東山尚光・坂本章

KOSETO-HORYU Emi, OCHIAI Shukichi, MASUTANI Kouji,
HIGASHIYAMA Hisamitsu and SAKAMOTO Akira

- ①はじめに
- ②資料とその背景
- ③分析方法
- ④結果
- ⑤考察

[論文要旨]

本論では、色材分析の新たな試みとして携帯型ラマンイメージング装置を用いた歌川派錦絵版木群とその錦絵の分析の結果について報告する。著者らは、新たな分析手法の適用を目指し文化財測定用に特化した携帯型ラマンイメージング装置を開発した。このイメージング装置を用い、いくつかの版木および錦絵の分析をおこなったところ、黒、赤、青、緑の4色について、有意なラマンバンドを確認した。その結果、黒はカーボン由来顔料、赤は四酸化三鉛（鉛丹）、青はプルシアンブルー（ペロ藍）、緑はプルシアンブルーと石黄の混合であることが明らかとなった。

【キーワード】 錦絵、版木、歌川派、ラマンイメージング、顔料